

宮崎労働局長から企業トップへの「働き方改革」要請

～ 社会福祉法人 スマイリング・パーク ～

平成31年4月24日、吉田宮崎労働局長が、社会福祉法人 スマイリング・パークの理事長 山田 一久さんから「働き方改革」の取組状況をお聴きし、更なる取組の推進をお願いしました。

訪問企業名	社会福祉法人 スマイリング・パーク
所在地	都城市丸谷町4670番地
労働者数	281名
事業内容	医療・福祉（子育て支援事業、障がい者福祉事業、高齢者福祉事業）

➤ICTの活用

早くから徐々にICTの導入に取り組んでおり、様々な場面で効率化を図っている。

例として

- ・タブレット（iPhone等）に記録することで、すべての書類が1度の入力ですべて済む、バイタルデータも職員の手を介さずに正確に記録される、申し送りは各自でチェックできる。
- ・声で書くシステムの導入（ボイスファン）により、記録にかかっていた時間が大幅に削減され、職員の記録に係る負担を大幅に軽減することができた。
- ・会議時間は30分とし、あらかじめ意見を求める形式をとり、タブレット（iPhone等）を持って参加することで効率化が図れた。
- ・入居者に眠りスキャンを導入したことによって、夜間帯職員の負担軽減につながった。

➤年次有給休暇の計画的付与

過去1年の年次有給休暇の取得状況は平均10日～14日。年次有給休暇の計画的付与を行っている。従業員には月1日の有給休暇の取得を推進しており、有給休暇の取得しやすい雰囲気づくりが定着している。

➤両立支援

育児休業の取得は100%。認定こども園で働く保育士には、希望すれば自分の子供を入園させて一緒に登園できるように配慮している。

➤人材確保

出退勤管理については、タイムカード運用をしていたが、職員ごとに指紋と静脈を登録するハイブリッド認証システムを導入しクラウド上で管理する等、労使関係を明確にした。

また、現場の様々な声を吸い上げて改善につなげた結果、2003年の特養施設オープン当初、離職率が25%と高かったが、ICTの活用を含め取り組んだ結果、特養施設の平成29年度離職率は3%となった。第9回「日本で一番大切にしたい会社」大賞実行委員会特別賞受賞。



吉田局長（左）と社会福祉法人スマイリング・パークの山田理事長（右）